

編集後記

如月の声を聴く前に雪が降り、インフルエンザの方も散見される冬本番ですが皆様お元気でお過ごしでしょうか。新年号からリニューアルし大判化かつカラーページが増加した当医報に読みやすくなつた等のご感想をいただき、委員としても嬉しいかぎりです。伝統を踏襲しつつ皆で発展させていければと思っております。

誌上ギャラリーには山口先生から鹿児島神宮の初午祭の模様をお寄せいただきました。コロナ流行以前の人々の表情にこころ和みます。

論説と話題は第58回九州首市医師会連絡協議会のご報告と盛岡市で開催された令和4年度全国学校保健・学校医大会の詳報です。後者では「子供たちの『生きる力』を育む」をメインテーマに小児科を中心とした各科医師や学校保健に関わる方々が発表されています。また、市医師会会員受賞祝賀会の模様も掲載いたしました。受賞された先生方、おめでとうございます。

医療トピックスは市医師会病院薬剤部からのくすり一口メモです。トリプタン製剤は処方機会も比較的多いので勉強になります。

学術の最初は外科医会秋季例会から4題、家族性大腸腺腫症と消化管癌の合併・肝損傷に対する手術・肝細胞癌の治療法比較・キトルーダ奏効進行再発胆管癌の症例報告です。次に市立病院腫瘍内科からは同院のがんゲノム医療に関する中澤先生の特別講演内容をご紹介いただきました。遺伝子検査を用いた個別化医療は単なる薬物選択に留まらず患者さんの希望や状況にも応じる必要がありそうです。

今月の医師会病院だよりは外科部長の渡邊先生から同科のご紹介をお寄せいただきました。腹腔鏡を活用した消化器疾患の治療が多いそうですが、悪性疾患の化学療法や乳癌手術も実施されているとのことでした。引き続き患者ご紹介をお願い致します。

随筆・その他では連載「切手が語る医学」で古庄先生が国連経済社会理事会の記念切手画像をご提供くださいました。大判カラー化で図柄

が分かりやすくなり、今後も楽しみです。

栗先生の隨筆は今回「歌と写真で綴る薩摩の脇道」の連載です。クラシック音楽にまつわる大長編と並行のご寄稿ありがとうございます。歴史モノはもう一題、邪馬台国と出雲の国について濱田先生に興味深い考察をいただきました。現代に戻つてリレー隨筆は今村総合病院研修医の小坂先生から大学時代の諸活動のお話です。近畿から関東、当地へと移つてこられた多才な先生のご活躍を祈念します。

区・支部だよりは今回報告がなく、特集として過去1年間の誌上ギャラリー作品集を掲載いたしました。鹿児島ドクターズフォトクラブ内外の先生方に感謝申しあげます。

各種部会だよりは泌尿器科医会から総会報告と会長退任挨拶、外科医会から秋季例会報告、内科医会から11月例会報告を頂戴しています。学術コーナーの詳報と合わせてご一読ください。

各種報告は理事会概要、臨床検査センター協力運営委員会やその他各種委員会報告、多職種連携会議のオンライン研修会報告、糖尿病医療連携体制講習会報告、小児生活習慣病検診報告ならびに予防を目的とした親子健康教室の模様のご紹介です。

附属施設だよりと利用・受診状況、会員異動等当会の動きもご覧ください。

鹿市医郷壇のお題は「鬼(おん)」です。節分の豆まきの様子でしょうか、それとも関係のない鬼が登場するのでしょうか。伝統から軽妙な洒落まで、自信のない方もまずは一句お寄せください。愛のある添削が待っています。

長引くコロナ禍の抑圧や不景気、泥沼のウクライナ侵攻など国内外に悲しい報道が続います。しかし人の心はこういう時にも新たな春の予兆に勇気づけられるものだと思います。お気に入りのスポーツや芸能を応援したり、健康に良いことを一つ始めたり。頑張りましょう!

(編集委員 關根さおり)